

講義2

レポートで使う記号と文字

論述・作文A

第7回

この講義で学ぶこと

- レポートで使う記号

- 記号にはそれぞれ意味がある。レポートでの記号の役割と使い方のルールを知ろう。

- レポートで使う文字

- レポートなどで文字入力する際の基本的なルールを知ろう。

句点

- 文の終わりに打つ。

例:

。

- カッコと組み合わせて使う場合。

－「終わりカッコ＋句点」の順で組み合わせる。

例:

の	だ	」。
---	---	----

の	だ	)。
---	---	----

－ 逆の組み合わせ（句点＋終わりカッコ）は使わない。

例:

の	だ	。」
---	---	---------------

の	だ	。)
---	---	----------------

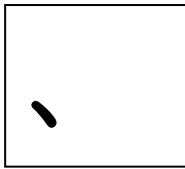
文末で使わない記号

- レポートでも「？」や「！」は使用しない。
 - 文末では常に句点(。)を使用する。
- 高速で走行する新幹線が発する騒音や振動は、沿線住民の生活を根底から破壊する恐れがあるのではないだろうか。

読点

- 文中の区切りで使う。

例：



- 読点（、）は多すぎても少なすぎても読みにくい。
- 第4回の句読法のポイントを復習しよう。

中黒「・」

(1) 名詞を並列するときを使う。

例：札幌・旭川・函館に支店がある。

月曜日・水曜日は定休日だ。

名詞と名詞がANDの関係

(2) 外来語で使う。

例：ビル・ゲイツ

オーストリア・ハンガリー帝国

3種類のカッコ

- カギカッコ 「 」
- 二重カギカッコ 『 』
- 丸カッコ ()
- これ以外のカッコ類 ~~“ ” / [] / { } / < >~~
– 日本語の文章では使わない。

「」（カギカッコ）

- 収録タイトルを示す。
 - 書籍や雑誌、新聞に収録されている個別の作品や論文、記事のタイトル（詳しくは後で説明する）。
- 発話文を示す。
 - 例：大学側は「説明会を開く予定だ」と発表した。
- 語句を強調したいときに用いる。
 - 例：まさに「幻の逸品」であった。

『 』（二重カギカッコ）

- 書籍や雑誌の書名、新聞名、音楽の曲名、絵画の作品名などを示す。
 - － 例：夏目漱石の『吾輩は猫である』を読む。
『日本経済新聞』を購読する。
SMAPの『世界に一つだけの花』
レオナルド・ダ・ヴィンチの『最後の晚餐』
映画館で『君の名は。』を鑑賞する。
- 語句を強調したいときに『』は使わない。
 - － 語句の強調は「カギカッコ」でする。

カギカッコと二重カギカッコ

- 『二重カギカッコ』は、書籍名や雑誌名。
- 「カギカッコ」は、書籍や雑誌に収録されている個別の作品や論文、記事のタイトル。

雑誌名
二重カギカッコ



『週刊少年ジャンプ』には、

「ONE PIECE」

「呪術廻戦」

「ブラッククロージャー」

雑誌内に収録されて
いる作品タイトル
カギカッコ

などの人気作品が連載されている。

() (丸カッコ)

- 語句の解説や補足説明に用いる。

－ 例：

哺乳類は卵を産まない（ただし、カモノハシやハリモグラのような例外も存在する）。

- 文末で用いる際は、句点の位置に注意する。

哺乳類は卵を産まない。×（ただし、カモノハシやハリモグラのような例外も存在する）×

カッコの練習問題

- 「みにまる・のーと」のポイント6にある各文の下線の語句に対して適切なカッコを付けなさい。

1. 政府は 安全性に問題がない と発表した。
2. 川端康成の小説 雪国 の中にも登場する。
3. 卓上四季 は 北海道新聞 に掲載されている人気の高いコラムのひとつだ。

練習問題の解答

1. 政府は「安全性に問題がない」と発表した。

書籍名は
二重カギカッコ

発話文・引用文は
カギカッコ

2. 川端康成の小説『雪国』の中にも登場する。

新聞に収録されて
いる記事タイトル

新聞名は
二重カギカッコ

3. 「卓上四季」は『北海道新聞』に掲載されている人気の高いコラムのひとつだ。

パソコンでの文字操作

- パソコンで行う代表的な文字操作。
 - 文字入力
 - 検索・置換
- レポート内での表記の統一
 - 「表わす」～「表す」 → 「表す」に統一
 - 「たとえば」～「例えば」 → 「例えば」に統一
- 英数字を半角に統一
 - X 2 2 0 123 → X220123
全角NG

文字入力のフォントとサイズ

- 標準的なフォント（文字）を使う。
 - 和文：明朝体（例：游明朝、MS明朝）
 - 欧文：Times New Roman
- ゴシック（太字）以外の文字装飾は避ける。
- フォントのサイズ
 - 見出し（本文より大きめのことが多い）。
 - 本文（標準は10.5ポイント）。
 - 注釈（本文よりも小さめのことが多い）。

本日のMoodle課題（2つ）

- 講義1・2のチェックテストの受験
 - この講義時間終了後から次回講義まで。

